

建築士会委員会議事録		委員会・会議等	会員増強検討委員会 (第1回)	
		開催日時	平成 23年 8月 1日 自 14:00 ~ 至 17:00	
会場	ペガサート		記録者	勝亦 信裕
出席者 氏名	<input type="checkbox"/> 萩原 克哉 (裾野) <input type="checkbox"/> 勝亦 信裕 (富士) <input type="checkbox"/> 望月 一彦 (富士) <input type="checkbox"/> 清水 利至 (静岡) <input type="checkbox"/> 八木 紀彰 (静岡) <input type="checkbox"/> 守屋真由美 (静岡) <input type="checkbox"/> 山崎 倫康 (静岡) <input checked="" type="checkbox"/> 藤井 真二 (清水) <input checked="" type="checkbox"/> 喜多 昇義 (浜松) <input checked="" type="checkbox"/> 永田 圭吾 (小笠) <input type="checkbox"/> 倉田 裕司 (中遠) 委員長 <input type="checkbox"/> 西山 昌行 会長 <input type="checkbox"/> 原田 清司 副会長 <input type="checkbox"/> 鈴木 悦夫 常務 <input type="checkbox"/> 蒔田 巖 会員委員会委員長			
	<input type="checkbox"/> 出席 <input checked="" type="checkbox"/> 欠席 <input type="checkbox"/> 議事録済			
議 題		議 事 の 経 過 及 び 内 容		
1 開会	挨拶、主旨			
2 自己紹介	総会の際に話が出たが、入会者、会員が減少する中、会員増強について議論する委員会を設立した。10年20年後の士会を考えた委員会とする。一年間の暫定委員会だが、内容によっては継続する。			
3 会長挨拶	役員はサブ的立場になり、委員がメインで活動し理事会などのパイプ役となる。			
4 主旨等内容説明				
5 委員長及び副委員長 の選任	委員長 倉田裕司 氏 副委員長 萩原克哉 氏、清水利至 氏 に任命された。			
6 協議	各自が入会した時の経緯を発表。 ・独立間もない頃、横の繋がりの為、入会した。 ・自社以外の外部の情報を得るため入会した。しかし、現在は「まちセンクラブ」などから情報が得られるため士会独自のメリットがない。 ・入会前から会員に知り合いが多少いた為、入会しやすかった。  入会者が増えない原因、入会者獲得の為の案を発表した。 ・士会の会員証によりサービスを受けられるような特典を付ける。 ・会員・非会員の間のグレーゾーンを拡大する。 ・申請時に見解の違いが発生した時に、士会に相談できる。士会から行政・民間機関・適判へ意見が言えるようなシステム。 ・昔は入会後のメリットは自分で探せと言われた時代。 ・士会のHP上で台帳整理を行えるようなシステムの導入。 ・青年委員長は理事に入るべきである。 ・HPの不具合が続いている。一般者に印象が悪い。この状態では入会者は増えない。 ・支部があったころは近場で委員会を行ったがブロック化により集まらなくなった。会場も適切な場所を選ばなくなってきた。 ・独自のグループを作ってしまう、そちらが活発になった。 ・異業種交流を行う。 ・委員会活動により負担が大きい。 ・会費が高い ・士会としてのステータスを保つ必要がある ・士会のイメージが重い ・会員数の割に知り合いが増えない。 ・他県では青年委員は35才卒業で廻っている地域もある。 ・事務局の外観をおしゃれにする。 ・イベントを行う際、誰に向けて行うのか（ブロック大会など） ・イベントを行う際に密度を気にしすぎる為、負担が大きい。			

<p>7 閉会</p>	<p>少ない人数でも 出来る活動があるはず。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・士会を“0(ゼロ)”にし、再構築したとして、何をやる会なのか、もう一度考える必要がある。</li><li>・自分たちが楽しくなければ入会者は増えない。</li><li>・委員の人数に制限がなければ大人数が集まる。→活性化する。</li><li>・準会員制度を導入する。</li></ul> <p>今回は発表のみなのでランダムな意見を記録するだけとする。</p> <p>以上の意見から、士会から見た顧客は誰か。何に向けて情報を発信するかを次回 検討する。</p> <p>次回 9月8日 15:00~17:00</p>
-------------	---